

平成二十一年三月三日受領
答弁第一四九号

内閣衆質一七一第一四九号

平成二十一年三月三日

内閣総理大臣 麻生 太郎

衆議院議長 河野 洋平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出二月二十二日の「竹島の日」に対する政府の関与、協力に関する第三回質問に
対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出二月二十二日の「竹島の日」に対する政府の関与、協力に関する第三回質問に対する答弁書

一について

諸般の事情から、欠席したものである。

二及び六について

政府部内で確認した範囲では、お尋ねのような祝電等を送ったとの記録は確認できなかった。

三及び四について

政府としては、竹島の領有権の問題に関する我が国の立場を主張し、問題の平和的解決を図る上で有効な方策を不断に検討しつつ、必要な施策を実施してきており、「水を差し、竹島問題解決に向けた国内世論を大いに冷やしてしまう」との御指摘は当たらないものと考ええる。

五について

先の答弁書（平成二十一年二月二十日内閣衆質一七一第一一五号）一及び二についてでお答えしたとおりである。